

まちの魅力を歩いて再発見
国指定史跡

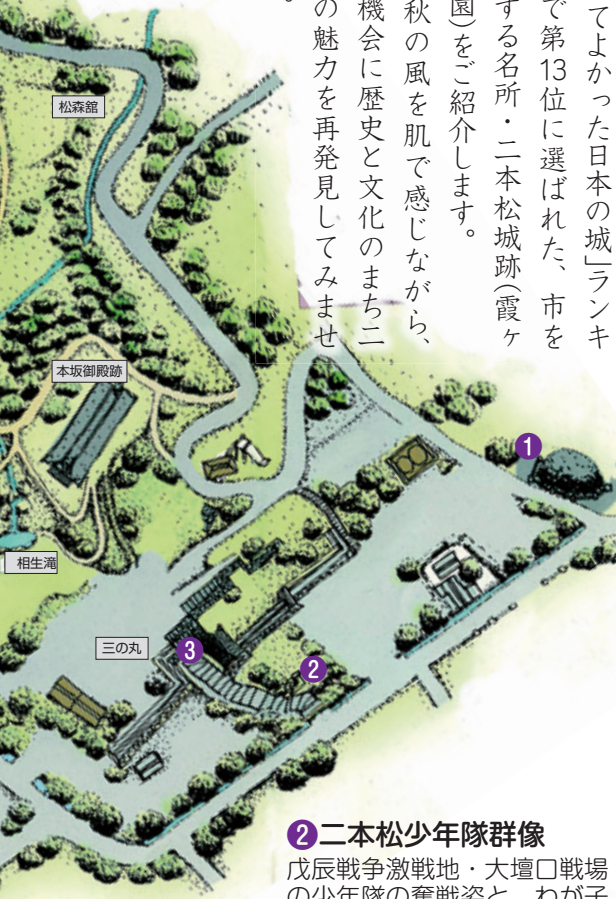
二本松城跡(霞ヶ城公園)

今年で合併10周年を迎える二本松市。各地域に名所がちりばめられているこのまちは、県内外、そして海外の人々をも魅了する観光名所であふれています。

現在、市内に残されている名所には、歴史と伝統が今なお息づいており、昔から多くの人々がこれらの名所に足を運び、そして感銘を受けてきました。

今回は、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の「行ってよかった日本の城」ランキングで第13位に選ばれた、市を代表する名所・二本松城跡(霞ヶ城公園)をご紹介します。

晩秋の風を肌で感じながら、この機会に歴史と文化のまち二本松の魅力を再発見してみませんか。



1 旧二本松藩戒石銘碑

藩士の戒めとするため、5代藩主・丹羽高寛公が藩儒学者の岩井田昨非に命じて、通用門前の自然石に一夜のうちに刻ませたのもだといわれている。[4句16文字の銘文～お前(武士)たちの奉給は領民の汗と脂の結晶である。常に感謝し領民をいたわらなければならない。この気持ちを忘れて領民を苦しめれば天の怒りに触れるであろう～]

2 二本松少年隊群像

戊辰戦争激戦地・大壇口戦場の少年隊の奮戦姿と、わが子の出陣服を仕立てる母の姿を、二本松市名誉市民の彫刻家・橋本堅太郎氏がブロンズ制作し、平成8年に建立



3 箕輪門

丹羽光重公入府直後、御殿と共に最初に建造した櫓門。材料のカシの巨木は、領内箕輪村山王寺山の御神木を用いたため、この名がつけられた

4 るり池

光重公時代の造園の姿を今に残す。布袋滝との組み合わせが、小規模な回遊式庭園ながら、自然との一体感をかもし出す



5 洗心亭

城跡内に唯一残る江戸期の建造物で、木造力や葺き・寄棟平屋造りの茶室。当時は「墨絵の御茶屋」といい、光重公がこよなく愛した



7 二合田用水

丹羽光重公により、城を守る十分な水を確保するため、安達太良山麓より延々18kmもの距離を城内各所に引水した用水。工事は幕府に内密で行われたことから、秘密を守るため「罪人が逃げ出し、藩は山狩りを行っている」と噂を流したとも…



6 霞ヶ城の傘マツ

別称「八千代の松」ともいわれる。樹齢300年を越す。1本の幹から傘状に枝を伸ばし、東西に14mもあるアカマツの巨木





からめてもん
11 搦手門
裏門。今は門台石垣と
門柱礎石のみが残る



10 少年隊の丘

昭和43年命名。橋本堅太郎氏の父であり彫刻家であった橋本高昇氏制作のブロンズレリーフ「二本松少年隊奮戦の図」や顕彰碑が建つ



12 本丸跡

室町時代は奥州探題職・畠山氏の居城。のち会津領時代に蒲生氏、加藤氏により石積みで築造。平成5年から約5億3千万円、2年におよぶ歳月をかけ石垣の全面修築復元工事が行われた



8 土井晩翠歌碑

旧会達製糸会社の社歌を作詞した晩翠は、昭和24年に発表会のため来松。花吹雪の中を散策し、その情景を詠んだ歌が、歌碑として残っている



9 智恵子抄詩碑

～あれが安達太良山、あのひかるのが阿武隈川～
「樹下の二人」「あどけない話」の一節を、大小一對の「牛石」に、高村光太郎直筆の銅版をはめ込んでいる。自然石の「牛石」は築城の際にいけにえにした牛が石に化したものという伝説がある



デザイン/久納 延公
絵 /大槻 家氏

至二本松IC

「行ってよかった!日本の城ランキング2015」第13位



～表彰状～

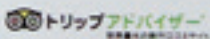
口コミで選ぶ「行ってよかった」
日本の城 2015

TOP 20

二本松城跡

世界最大の旅行口コミサイト
トリップアドバイザーに掲載された口コミにもとづき
上記の通り認定いたします。

旅行者からの支持を高めるため貴施設の
実態をたたくことを願います。



世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」は、旅行者からの口コミをもとに、昨年6月から今年5月までの投稿数などを独自の算出方法で集計。旅行者が「行ってよかった」と考えた日本の城の中で二本松城跡が13位に選ばれました。

トップ20の中には、熊本城や姫路城など全国の名だたる城が選ばれており、県内では唯一、関東以北では二本松城跡の他、青森県の弘前城が15位にランキングしているのみです。

天守閣はないけれど、石垣に魅力を感じる旅行者の口コミも多く「石垣の博物館」「春は桜、秋は紅葉と季節ごとに楽しめる」といったコメントが寄せられ、二本松城跡の良さが評価されています。

